

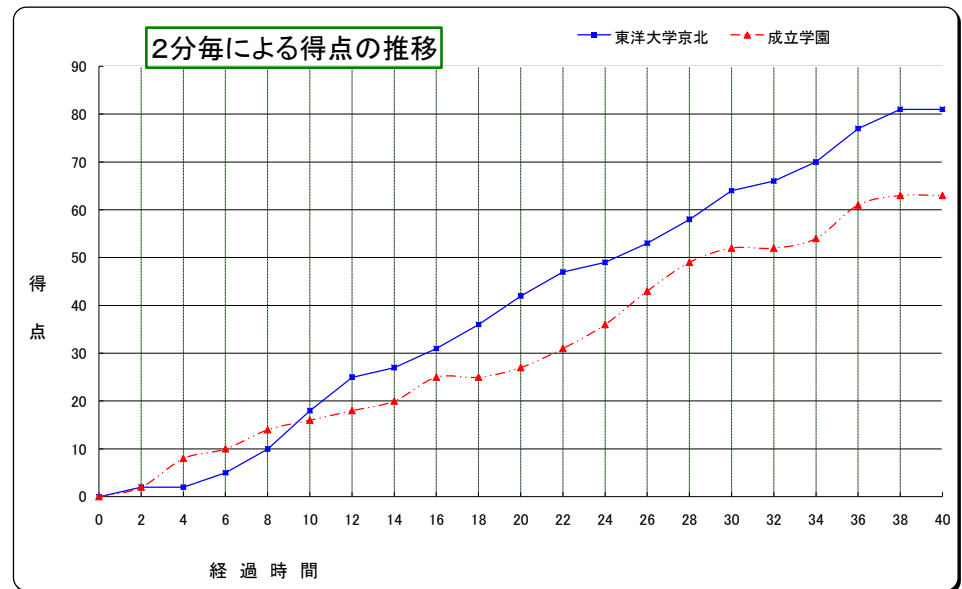
# 平成28年度第70回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成28年6月5日(日)  
深谷ビッグタートル  
Bブロック準決勝

チームA			チームB
東洋大学京北 (東京)	81	{ 18 1st 16 24 2nd 11 22 3rd 25 17 4th 11 }	63
		}	成立学園 (東京)

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	長澤 幸希	5	1	3	1	3	0	0	4	2	3	0	2	0	1
5	佐藤 拓海	17	3	9	3	11	2	2	3	3	7	4	0	0	2
6	吉田 帝賀	24	0	3	10	16	4	6	4	3	8	5	3	1	2
7	白鳥 拓土	1	0	1	0	0	1	2	0	1	0	0	2	0	1
8	李 敬霖	0													
9	永峯 秀飛	12	2	4	3	6	0	0	0	0	1	1	3	0	1
10	芦澤 俊亮	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0
11	森田 崇暉	14	1	8	4	12	3	6	5	1	4	2	0	1	0
12	須貝 晃太	6	0	1	3	3	0	0	2	2	1	1	3	0	0
13	山来 亮太	2	0	0	1	2	0	0	0	0	3	0	2	0	1
14	神田 康太	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0
15	近藤健太郎	0													
16	高谷 仁武	0													
17	田島 直樹	0													
18	溜池 龍太	0													
コーチ	田 渡 優									3	4	1		1	1
		81	7	31	25	56	10	16	19	13	28	13	16	2	8
		確率	22.6%		44.6%		62.5%			計 41					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	井上 悠暉	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	奥 巧亮	6	0	0	1	4	4	4	3	3	9	0	2	0	0
6	磯田拳太郎	9	0	7	4	14	1	2	0	2	0	0	1	0	3
7	金城 光	14	1	5	5	10	1	2	0	0	11	0	2	0	3
8	劉 大鵬	21	0	1	8	12	5	11	2	9	3	0	2	1	3
9	樋口 和奏	2	0	0	1	5	0	2	1	2	3	1	0	0	2
10	宇田川 陸	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
11	田中 蓮	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	大槻 壮樹	10	2	3	2	4	0	0	3	0	2	2	1	0	5
13	富田 武蔵	0	0	0	0	2	0	0	2	3	0	0	0	0	2
14	塚田 優人	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
15	出納慎太郎	0													
16	谷 峰	3	1	2	0	4	0	0	1	3	1	0	0	0	2
17	桑原 一樹	0													
18	大原 椋	0													
コーチ	袴 田 清 美										5			2	
		65	4	23	21	55	11	21	14	24	29	3	8	1	20
		確率	17.4%		38.2%		52.4%			計 53					



## 戦評

第1P 両チームマンツーマンディフェンスでスタートする。成立は#8にボールを集め得点を狙うが、決めきれない。京北は#11のドライブインなどで攻めるが、成立のディフェンスに阻まれる。序盤は#8の得点で成立ペースで進む。6分過ぎに京北は5つ目のファールでフリースローを与える。京北は#6のインターセプトからアンスポーツマンライクファールをもらい、その直後にも#6の速攻が2つ目のアンスポーツマンライクファールとなって得点する。16対16で1Pを終了する。

第2P 京北は#11のやや強引なドライブインなどで得点する。成立はインサイドへのパスが入らず苦しい展開が続く。京北がリードする展開の中、成立は#8をベンチに下げてミドルシュートで応戦する。残り2分、成立は#8を戻すが、京北#11、#6の連続3Pでリードを広げ前半終了。

第3P 前半同様両チームマンツーマンディフェンスでスタート。少しでも点差を詰めたい成立は、#6の3Pや#12のミドルシュートで得点するが、京北も#6、#8の3Pで応酬。残り5分で成立は#8のリバウンドシュートで10点差、その後#7のドライブインシュートで流れを掴みかけたが、京北の#5の3Pなどで簡単には差を詰めることができず64対52で第3P終了。

第4P 第3Pで思うように差を詰められなかった成立は、#8を中心に攻撃をするが、京北の#8への執拗なディフェンスでパスがまわらず、逆にインターセプトから速攻で得点される。成立は#7のドライブインや#8のリバウンドシュートが決まらず苦しい展開になる。リバウンドやスチールからの速攻でリズムを作った京北は、#6の3Pなどでその後も点差を広げ、残り3分で20点差とし試合を決定づけた。

記録者:梅松撰夫

Ref	山崎 人志	1st U	眞榮喜 工	2nd U	大川 尚
-----	-------	-------	-------	-------	------